

事業者向け

使える支援制度のカードを探しましょう 令和2年5月10日版

新型コロナ対策支援カード

新型コロナ対策支援カード©2020弁護士永野 海 最新のカードのダウンロード

*各制度には適用・利用条件や、今後の補正予算等での制度変更の可能性がありま。随時、各ホームページ(QRコード)で確認を。

給付金・支援金

持続化給付金

中小企業・各種法人 最大200万円
個人事業主 最大100万円

窓口 左のQRコードに申請サイトあり
誰に コロナで今年のどこか1つの月の売上が、前年同月比で50%以上減少した事業者

給付額は昨年1年間の売上からの減少額が上限

小学校休業等対応支援金

2月27日から6月30日の期間で、約束した仕事ができなかった日1日につき4100円(定額)

窓口 学校等休業助成金・支援金受付センター
誰に 小学校等の臨時休校等による子の世話で個人契約の仕事ができなかった保護者

臨時休校等の前に結んだ仕事の契約が対象

IT導入補助金(特別枠)

補助率 2/3
補助額 30~450万円

窓口 サービスデザイン推進協議会
誰に 在宅勤務導入のために利用する業務効率化ツールを導入した中小企業・小規模事業者等

PC・タブレットなどのレンタル費用もOK

その他助成金

雇用調整助成金(特例措置)

支払った休業手当等の全部又は一部(日額1人8,330円上限)を助成

窓口 労働局又はハローワーク
誰に コロナの影響で休業手当(パート含む)を支払う等した事業主

特例措置は4月1日から6月30日まで

小学校休業等対応助成金

有給休暇を使った労働者に払う賃金(日額1人8,330円上限)を助成

窓口 学校等休業助成金・支援金受付センター
誰に 臨時休校等の子どもの世話で休業した保護者の勤め先

2月27日から6月30日までが対象期間

持続化補助金(特別枠)

補助率 2/3
補助上限額 100万円

窓口 全国商工会連合会又は日本商工会議所
誰に コロナの影響でネット販売など非対面型サービスに転換を図る小規模事業者など

上記のための設備・システム投資が条件

融資・税金

個人向け緊急小口資金(特例)

学校休業・個人事業等 20万円以内
その他の場合 10万円以内

窓口 社会福祉協議会または労働金庫
誰に 新型コロナで収入の減少があり生計維持の必要な人

無利子・保証不要・1年据置2年返済

資金繰り支援の各種融資

売上高の減少の程度により融資の種類や窓口が変わるが、保証料・金利ゼロ、返済据置期間のある融資が整備

窓口 左のQRコード(経産省作成の一覧表)で確認
誰に コロナの影響で売上が減少するなどし、資金繰りが苦しい事業者

日本政策金融公庫、商工中金、民間など

税金・納税の支援策

国税・地方税の1年納税猶予、固定資産税の軽減措置などTKCのHP(QRコード)などで確認

都道府県・市区町村の支援

自治体独自の支援策は、TKCのHP(QRコード)で都道府県等を選び検索

新鹿会 Vol.2

Shinrokukai Report

令和2年6月発行

希望を持って前へ

[連絡先] 鹿沼市千渡2332
[TEL] 0289-60-6760
[編集責任者] 湯沢ひでゆき
※こちらまでご意見・ご感想をお寄せ下さい。

〈新鹿会の主張〉

右記の5本柱で進めていきます。

1. 子育て環境の整備
2. 充実のシニア世代
3. 農林業の活性化



4. 県民生活の安心安全なまちづくり

5. 企業育成・雇用の確保

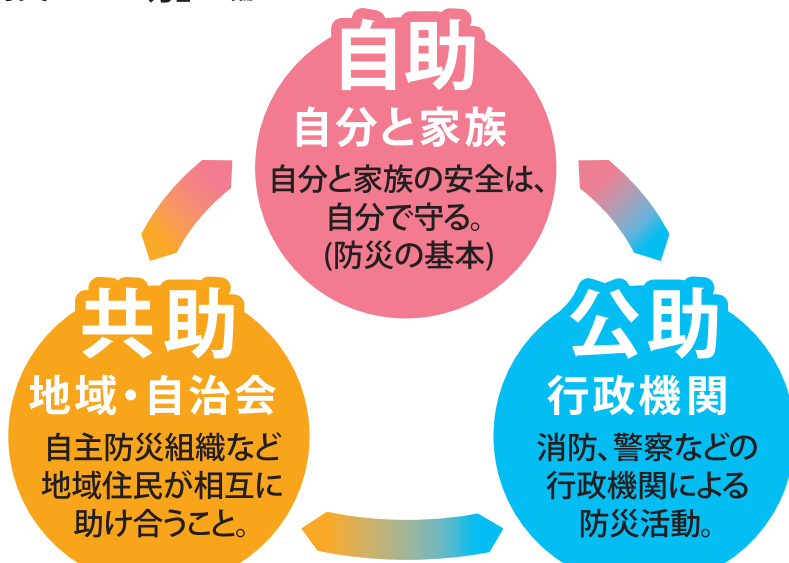
忘災から防災へ

今や、いつ起きてもおかしくない災害。いざという時には国が助けてくれるだろう、地震で家が半分壊れていてもすぐに救助隊が国から派遣されてくるだろう、と考えてしまう人も多いかと思います。しかし、実際の災害の場では国にできることには物理的な限界があるので、地域コミュニティや自分自身で解決しなければならない瞬間が必ずあるのです。

歴史から学ぶことが多いなか、江戸時代の米沢藩主に上杉鷹山という屈指の大名がいました。鷹山は、破綻した財政を三助の実践に基づいて立て直したといわれています。今回の紙面では自分たちの命を守る大切な三助の取り組みについて皆様にお届け致します。

「防災の三助」の輪

自助・共助・公助の連携が、安全安心なまちをつくれます。



※阪神・淡路大震災発生直後の救助活動は約9割が、「自助」と「共助」によるものでした。

災害に備えましょう!

いざという時のために、まずは、日頃から非常時の持出品や備蓄品を用意しておくことが大切です!

防災備蓄品 ▶ 備蓄品は、できれば7日分を準備しましょう! 難しいようであれば、まずは3日分を準備!

- | | |
|------|---|
| 食料 | ☐ 乾パン・缶詰などの非常食
☐ マグカップ・紙皿
☐ 食品用ラップ
☐ ペットボトルの水・給水容器 |
| 衣類 | ☐ 下着・防寒着
☐ 雨具・軍手・運動靴 |
| 衛生用品 | ☐ 持病の薬・常備薬
☐ お薬手帳
☐ 簡易トイレ |

- | | |
|-----|--|
| その他 | ☐ 懐中電灯・携帯ラジオ・予備の電池
☐ 携帯電話の充電器・貴重品(通帳、現金)
☐ 緊急時笛(声が出せない時用の助け笛) |
|-----|--|

- | | |
|-------|---|
| 準備・確認 | ☐ カセットコンロ・ガスボンベ
☐ お風呂に水をためておく
☐ 災害用伝言ダイヤル171
☐ 防災行政無線放送内容の電話案内(0180-994-144)
☐ 家族の連絡先の確認 |
|-------|---|

『防災備蓄品』のうち、これらのものは、『非常用持出品』として、1日~2日分をリュックサックに入れ、すぐに持ち出せるようにしておきましょう!

次のことについても注意しておきましょう!

- 避難時の移動に備えて、杖・車椅子など必要なものはすぐに使用できるように準備しておきましょう。
- 持病のある方は、必要な薬のリストを作っておきましょう。
- 老眼鏡や補聴器など、日常生活に必要なものは、普段から身の回りに置いておきましょう。

『災害時要配慮者』

高齢者、障害者、病弱者、乳幼児その他の特に配慮を要する者

「避難行動支援者」

自ら避難することが困難で避難に支援を要する人々

支援

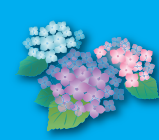
避難支援等関係者

町内会、ご近所さんへの配慮も大切です。

もしもの時には!!

- ・疑わしい時には行動せよ!
- ・最悪な事態を想像せよ!
- ・空ぶりは許されるが、見逃しは許されない!!

栃木県では「気候変動適応センター」を開設。早めの情報入手・対策を...!! (028-623-3186)



第362回 通常会議 開催



湯沢 湯沢より質問
県執行部 県執行部からの答弁

令和2年2月25日には皆さまの多大なる応援を頂き、「新鹿会の主張」を元に初登壇。常に県民市民目線を忘れずに、皆様の身近な議員として7つの質問をさせて頂きました。

1 東京2020大会の機会を生かした栃木のPRについて

(1) オールとちぎでの魅力発信について

県執行部 (県知事より) 「令和2年度においては、東京2020大会開催時に都内に設置されるホストタウン等を活用し大会開催を好機とした切れ目のない発信に取り組んでいく。」という心強い答弁を頂きました。

(2) 県産農産物のPRについて

県執行部 「本県農産物をPRするまたとないチャンスである。この機会を最大限に活用し国内外の消費者に向けて発信していく。旅行会社とも連携し県産農産物を使用した特別メニューを提供する等、県産農産物のファン拡大を図り、食のコンシェルジュを置くことで、本県への人の流れを作っていく。」と答弁を頂きました。

湯沢 県には、栃木の美味しさ・すばらしさ・そしてこだわりを持って積極的な取り組みを期待したいと思います。

※残念ながら今年の開催は見送りにになりました。

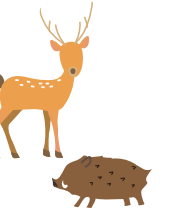


2 鳥獣害対策について

湯沢 全国における野生鳥獣による農作物被害は、平成30年度が約158億円と6年連続で減少していますが、被害金額は依然として高い水準にあります。担い手不足や農林業従事者の高齢化も相まって営農意欲の減退につながっており、農作物被害にとどまらず、他の被害を考えますと深刻な影響を及ぼしています。鳥獣対策については、昨年5月に鳥獣対策本部を設置し、捕獲・防除・環境整備の3つの取り組みで被害防止策を推進してきました。こうした取り組みに加え、ICTを活用した捕獲対策や狩猟者の確保・育成等に取り組んでいると思います。その捕獲対策によりどの程度減少したか、どのように取り組んでいくのかを伺いたい。

県執行部 「県ではこれまで、狩猟者に対する捕獲奨励金の助成やICTを活用した効率的な捕獲技術の普及、罠の設置等により捕獲の強化に積極的に取り組んできました。昨年の鹿・猪の捕獲頭数は18,000頭を超えるなど実績を重ねています。3年ごとの生息密度調査でどの程度影響があり捕獲があったかを把握し今年度について、ICTなどを活用し地域ぐるみで対策をとるなど環境整備を行って参ります。」 ※ICTとは…情報通信技術のことです。

湯沢 更なる実感の湧くような取り組みを期待いたします。



3 地域包括ケアシステムの取り組みについて

湯沢 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの取り組みはとても大切なことです。そのためにも今後は、日常生活圏内である第2層協議体の設置をさらに強く進めていくことが求められています。



県執行部 「現在県内には100を超える第1層・第2層協議体が設置されており、地域資源の把握や課題の共有などの取り組みが展開されております。県では地域とのつなぎ役でもある生活支援コーディネーターの養成や企業等に指導助言を行うアドバイザーを派遣し市や町に対してきめ細やかな支援に取り組んでいるところであります。」

湯沢 今後は、もっと地域に寄り添う地域包括ケアシステムを作り上げていくべきだと思います。

4 災害時における要配慮者の支援について

湯沢 我が国では従来から地震や台風など自然災害が多く、また近年は気候変動等の影響により豪雨等による激甚化した災害も頻発しています。本県においても、平成27年の関東・東北豪雨や昨年の台風19号による水害等で被災しており大規模な自然災害は決して他人事ではないと考えます。中でも高齢者や障害者、乳幼児等の要配慮者が災害時において情報把握や避難等が迅速に行うことが難しい立場にあります。

県執行部 「県では市や町の避難行動要支援者の名簿の作成や具体的な避難方法などを定め個別計画の作成を支援してきましたが台風19号の避難対応については多くの名簿が有効に活用していなかったことが判明した。今後とも災害時に要配慮者が安全に避難できる体制が確保できるよう市や町の取り組みを支援して参ります。」



5 子供の貧困対策について

湯沢 子供の貧困率は1980年代後半から増加傾向にあり、中でも中高生における貧困の長期的な増加が問題であります。



県執行部 「県では、生活困窮者や世帯への学習支援やひとり親世帯への生活就業支援や非課税世帯等への教育費用の減免等、子供の貧困対策に取り組んでいる。しかしながら、なかなか必要な支援が子供や家庭に届きにくいという事例も多くあるので、今後は子供の年齢に応じた支援に取り組んで参ります。」

6 鹿沼市仁神堂地区における国道293号の整備について

湯沢 鹿沼市仁神堂地区における国道293号は沿線に菊沢東小学校や鹿沼東高校、更には仁神堂幼稚園が立地しており多くの児童生徒・園児などが通学等に利用しているため歩行者と自転車が輻輳する等非常に危険な状況にあり鹿沼市の住民にとっては喫緊の課題であり進捗を確認します。

県執行部 「鹿沼環状線と交差する仁神堂町交差点におきましては、朝夕を中心に渋滞が発生しています。昨年秋に地元説明会を開催し、関係住民の方々の合意を頂きました。現在は道路詳細設計を進め、引き続き鹿沼市関係機関と連携を図り早期事業化ができるよう取り組んでおります。」

早期実現を願いたい



7 高齢者の交通安全対策について

湯沢 本県においては、生活上、自家用車の利用が欠かせず、充実したシニア時代を実現し、高齢者が安心・安全に暮らしていくためには、高齢者の「運転をやめる」「運転を続ける」のいずれかの選択にも応えられる環境整備が必要であり、特に高齢者の交通安全対策は急務であると考えます。

県執行部 「高齢者をめぐる交通状況は極めて厳しいものと認識しております。高齢者交通安全教育隊による街頭指導・アドバイザーによる訪問指導・今年度よりスタントマンによるスクエアードストレート方式の交通安全教室をよびかけています。そのほか、ドライブレコーダーを貸し出し、その記録を使って警察官が、アドバイスを行う交通安全教室を県内各地で開催しております。」

※「スクエアード・ストレート方式」とは…「恐怖を直視させる」という意味で、スタントマンが受講者の目の前で交通事故を再現することにより、交通事故の衝撃や怖さを実感させ、交通ルールの必要性について受講者自身に考える機会を与えるという教育技法です。



初めての登壇でありました。大きな視座を持ち取り組むこと、県民の視点を忘れずに、すべての人が豊かさを享受できる環境づくりを目標に今後とも取り組んで参りたいと思います。

新鹿会活動報告 フォトリポート

埼玉県庁視察
(令和元年12月12日)



台風19号その後
(令和元年12月1日)



生き方塾
(令和2年1月11日)



豊洲市場視察
(令和2年1月30日)



コロナウイルスによる学童クラブの現状視察
(令和2年3月12～13日)



防災研修会 消防署にて
(令和2年4月13日)

